

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レジリエンス・スポーツセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日	～	令和8年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日	～	令和8年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの運動療育により、子ども一人ひとりに合わせた内容のプログラムの提供が可能となり、成功体験から自信に繋げることができている。また、保護者が常にレッスン内容を見ることができ環境のため、気軽に相談がしやすい。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの希望に合わせて、個別レッスン、同室レッスンを分けている 子どもの得意、不得意を見極めどうやったらクリアできるかを考えモールステップで成功につながるよう工夫している 子どもの日常の様子や困り感など情報を取り入れ支援に活かせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児は年齢や月齢による運動発達の違いが顕著にできるため、定型発達の基準を知り、今の子どもの状態にあった運動内容を提供できるよう職員研修や子どもの支援内容を詳細に共有し、つながったレッスンにしていけるように更に職員の振り返り時間を確保していく。 子ども、保護者、職員双方での関りを大切に支援していく。
2	個別レッスンが主体だが、マンツーマン型の集団療育により集団場面での苦手さがあるお子さまにも丁寧に対応することで成功体験につなげることができる。	<ul style="list-style-type: none"> プール教室や野球教室、サッカー教室、その他特別イベント(アイススケートやボルダリングなど)を開催している。 集団レッスンでもマンツーマンで職員が対応することで、集団での苦手さがあるお子さまにもモールステップで成功につながるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新人スタッフが加わる場合、暗黙のルール(子どもの活躍が引き立つような配慮や勝ち負けへの配慮など)を含め事前に情報共有し、全員で共通認識を持ったうえで集団療育に携われるように引き続き情報共有していく。 参加するお子さまに合わせて、レジスポルールを適用したり、より明確に分かりやすく伝えるよう指示を行うなど工夫した支援していく。
3	個別支援計画に基づいて、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を考え、提供することができている。	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングで保護者様、お子様のニーズを聞き取りし、それに沿った個別支援目標を立てている 過去の支援記録・個別支援計画を一覧で見ることができ、支援前にはその内容を確認し、その日担当のスタッフが支援内容を組み立てて提供できている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きモニタリングをしっかりと行いニーズをくみ取ることで、お子様に合った個別支援目標を立てていき、達成に向けて支援内容を提供できるように情報共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流やその他地域で他の子どもと活動する機会が少ない。	人員不足のためきょうだい児や地域の子ども達も参加できる「サークル活動(集団)」を休止していることもあり地域との交流が持てていない。	人員を確保し、「サークル活動(集団)」を再開できるよう職員で話し合い、令和8年6月祝日の日から再開予定になっています。
2	保護者同士の交流やきょうだい同士(きょうだい児)の交流機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会の実施は行っているが、今年度は不定期開催になっていることや周知が足りていない。 個別レッスン(利用者)主体になっているため、きょうだい児さんが一緒に参加できる機会が少ない。 	今年度は開催が少なくなってしまったため、次年度は保護者様の情報交換の場になるようテーマを設定したり、長期休みやゴールデンウィークなど休みの日に家族(きょうだい児含む)で参加できるボウリングやアイススケートなど特別イベントの開催をしていきます。
3	マニュアル類は完備されているが、保護者への周知が十分行われていない。また、避難訓練なども実施しているが、個別レッスン主体なため利用者の参加ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 1年に2回、定期的実施しているが保護者に向けての周知が足りていない。 事前予約制のため、時間帯によって利用者の参加が難しい。 	定期的にHUG等で配信をし、全体への周知を行っていきます。また、利用時(レッスン中)に避難訓練を実施するなど利用者も参加しやすいよう告知を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター

公表日 令和8年3月28日

利用児童数 年月日

回収数

	チェック項目	はい				どちらとも いいえ				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	1					もう少し広い方が子供が身体を使って出来る活動が増えると思う じゅうぶんな広さが確保されていると思います。	お子さまの年齢によっては狭いと感ずることもあると思いますが、今後もお子様の成長に合わせたスペースの確保や活動内容を工夫していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39	1					てきせつです。	今後もマンツーマンレッスンで、手厚く、安全面にもしっかり配慮しながら安心安全に支援できるよう尽力してまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされていると思いますか。	38	2					浦添の方は駐車場も少し坂道だったり狭いので移動不便そう 子どもが物を取りやすい配置だと思っています。	駐車場が狭くご迷惑をおかけして申し訳ございません。車の入れ替えがスムーズになるよう、時間にゆとりをもってレッスン終了できるという心がけてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	1					毎回利用するたびに換気がされて清潔感があります。	今後とも安心して通っていただけるよう、掃除や除菌など引き続き行っていければと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	1					保護者への配慮もあり、気付きを与えて頂けます。 子供の意見を取り入れながら楽しめるような活動をしていただいていると感じます。	今後もスタッフは日々学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40							プログラムに沿って継続してよりよい支援につなげていきます。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40							保護者さん、お子さんのニーズに寄り添い本人にあった計画を立て、しっかり支援できることを大切にしています。 引き続き相談しやすい環境を整えていきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	1						5領域に沿った支援を行ってまいります。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	3						本人の様子や支援計画に沿った支援が提供できるよう、スタッフで情報共有を徹底して行い、よりよい支援につなげていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	3		1				同じ種目に偏らないようお子さまのニーズをくみ取りながら他の種目や動きに取り組む工夫をしていきます。また、様々な動きにチャレンジするきっかけを作っているように努めてまいります。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	2	4	18				個別レッスンが主体になっていますが、今後、交流ができる機会を検討していければと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39							引き続き丁寧な説明を心がけ説明を行ってまいります。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39			1				引き続き丁寧な説明を心がけ説明を行ってまいります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39			1				ペアレントトレーニングは今年度も開催できていないため、開催できるよう調整していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1						職員による保護者様への声掛け含め、会議や個別相談時に情報交換し、引き続き共通理解が深まるように努めます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	1	1				定期的モニタリングを行ってまいります。	コーチとしての立場で可能な限り有用な助言ができるよう努めます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1	1					来所時の会話を大切に、充実できるよう努めます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	1	1	7			通常のイベントにはまだ参加したことがないので	今年度は保護者懇談会の開催が少なくなりましたため、次年度は開催を増やしていければと思います。また、家族で参加できるような運動イベントの開催を企画していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36			4			いつも保護者のお話も親身になって聞いてくれて嬉しです。	利用の際に保護者様とお話させていただいております。改めて相談の受け入れができることを周知していきます。	
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38			2				利用時に保護者様とお話させていただいております。引き続き、保護者様との情報伝達に努めます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38			2			はい。	毎月「月刊レジスポ」やHUGでの配信させていただいております。引き続き、配信していきます。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37			3				個人情報に関しては徹底しております。改めて厳重に取り扱いをしていきます。		
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27			13				職員全員で訓練内容は把握しており、定期的に訓練を実施しています。様々なマニュアルを気軽に見て頂けるよう、周知していきます。		

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24		1	15	やっていると思うが見た事はない	個別レッスンの関係上、訓練は全体で実施することは難しく、保護者様にはその旨ご理解いただけるよう周知いたします。また、実施した際にはお知らせしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	1		1		安全確保を維持し、危険な要因は新たに対策を講じていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	1		2	最初の頃に説明あったが忘れた	ケガや事故が起こらないように、職員間で想定されることを共有させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40				喜んで通っています。	今後も安心して通所できる環境を整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40				とても楽しみにしております。	今後も楽しく体を動かし、自信を持って様々なことに挑戦できるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40				大変満足しています。 毎回本人の要望に添いつつも、保護者の希望にも寄り添って下さり感謝しています。保護者よりも本人の特徴を理解されていて、アドバイス頂けるので気付きになり学ばせて頂いています。 大満足です。	体を動かす楽しみを知り、一緒に試行錯誤しながら成功体験を積み、自己肯定感を高め、様々なことに挑戦するレジリエンス力を育んでいけるよう支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		レジスポセンター					公表日	令和8年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	年齢ややりたい動きに合わせて公園なども活用している	・子どもによっては狭い時もあると感じる。 →高学年の子は近隣の公園も活用していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・職員採用急務 ・配置数はもう少しスタッフがいた方がより安心した環境を提供できると思います。 ・運動療育がメインなので、子ども達が安全に通える職員を配置できるといいなと感じる。 ・職員の体調不良等の急な欠席で配置数が不足することはあります。 →利用者様に安心してご利用いただけるようこれからも努めてまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・エレベーターがあるのはいいところ ・古い建物で構造上どうにもならないこともありますが、スタッフみんなで工夫できていると思います。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		カーテンのカビやほこりが気になる時がある。 →カーテンをすべて新品にする。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別レッスンなので、普段から個別が確保できている。また、相談室もあります			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・個別レッスンでは、記録の確認、目標設定、スタッフで確認など行っています。 集団レッスンの際には、みんなで打ち合わせを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月2回ほど事業所ミーティングを行っています。また、終礼でその日の申し送りをしっかり行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		分からない →外部評価できていないので、次年度しっかり行っていきます。		

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		所内研修で補っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			職員間で検討したり、意見を出し合う時間の確保をしていきたい。そのためには、日々の書類作業を効率よく行いたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			アプリを使用していつでも共有できるようになっている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定さ	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	その日によってやっぱり、やらなかったり	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	保護者のアセスメントに基づく	分からない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	3	保護者からの情報共有に基づく	分からない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	分からない	

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	分からない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		地域交流はしていないと思う
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		分からない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	今年度は保護者懇談会の開催は少なかったもので、次年度は毎月開催できるようにしていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		